

国語直し例

意味のわからなかった語句は書き出しておくこと。

一 問一

曲がりなりにも・十分ではないが、どうにかこうにか

問四

木崎の気持ち

傍線③「こみ上げるもの」とはどういう気持ちのことですか。五十字以内で答えなさい。

記述、抜き出し問題は問題コピー切り貼りして「問いの条件」に印つけて、はっきり把握させる。

(自分の持てるだけの技術を投じてつくった)

軍用機で大勢の若いパイロットを死なせてしまったという情けなさ。

問六 傍線⑤「・・・」と、聡一が押し黙ったのはなぜですか。

ア 木崎は戦中の自分の行為を悔いており、それを軽々しく否定した聡一の言葉が怒りとともに拒絶されたから。

イ 自分の過去を責める木崎の口調の鋭さに圧倒された上に、聡一にはそれを否定できる言葉が見つからなかったから。

ウ 自分が犯した過ちを告白する木崎の苦しみに触れて言葉もなく、また「重大な結果」の意味を早く話すよう促したかったから。

記号選択問題もコピー切り貼りする。誤答の消すポイントをはっきりさせる。

自分の答Ⅱア 正しい答Ⅱイ

問いの話題は聡一だから、聡一のようすを探す。↓138行めに「木崎の声はふるえていて、聡一はおそろしいような気持ちになる」、また141行めに「なんとか否定しなければと思うが、ふさわしい言葉が出てこない。」とあるので、イ。

四 ③ 心血 心血 心血 心血 心血

ただ「イ」とだけ書いても勉強にならない。文中から根拠を見つけ、書き出しておきましょう。

漢字は五回ずつ練習する。

記述では足りない要素があれば赤ペンで補う。全く書けなかった時は解説を読んだ後に、自分なりに考えて一度書いてみる。